

液化石油ガスメーター

いろいろな場所で大活躍する液化石油ガス

液化石油ガスとはどのようなものか、知っていますか？普段、「LPガス」や「プロパンガス」と呼んでいるものと同じガスです。おうちの横にある灰色のボンベや、キャンプで使うカセットボンベの中に入っているのが、このガスです。



ガスは普段、空気のような「気体」ですが、ギュッと大きな力をかけたり冷やしたりすると、水のような「液体」に代わります。これを「液化」といいます。

液体にすると、なんと大きさが250分の1に縮み、小さくなるので大きなタンクやボンベに入れて、トラックでいろいろな場所に運ぶことができます。他にも液化石油ガスには、他のエネルギーにはない便利な特徴とくちょうがありますよ。

特徴 1：災害に強い

地震じしんなどで電気や水道が止まっても、おうちにボンベがあればすぐにお湯をわかしたり、ごはんを作ったりできます。

特徴 2：地球にやさしい

燃やしたときに、空気をよごす物質や、地球温暖化の原因になる「二酸化炭素 (CO₂)」が出る量がガソリンや灯油よりも少ない、クリーンなエネルギーです。タクシーのうしろに「LPガス」と書いてあるのを見たことはありませんか？ガソリンよりも値段が安く排気ガスはいきがきれいなので、活用されていることがあります。

長さ計 (ものさし)

タクシメーター

皮革面積計

目盛付タンク

質量計 (はかり)

圧力計と血圧計

化学用体積計

燃料油メーター (自動車等給油メーター)

ます

温度計と体温計

ガスメーター

液化石油ガスメーター

織度計

浮ひょう (密度・比重・濃度)

水道メーター

環境計量器

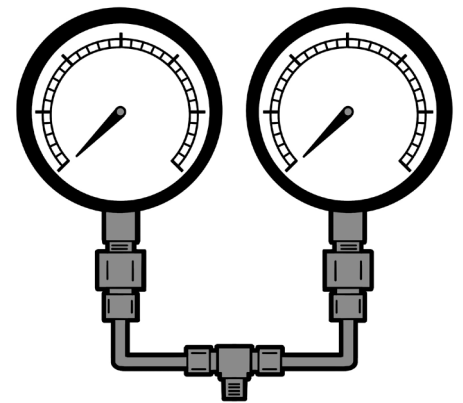
特徴 3：どこでも使える

ガス管が地面の下に通っていない山の上や島などでも、ポンペを運べば使うことができます。

液化石油ガスメーターの誕生

昭和 38 年（1963 年）ごろ、日本で液化石油ガスが一般家庭に広がった中でようやくメーターが発売されました。矢崎総業という会社が作った「LP10」というモデルが初期の代表的なメーターだといわれています。

今のメーターは四角い箱のような形をしていますが、昔のものはもっと丸みがあったり、時計のような針がついたりしていました。ガスの残りが少なくなると、つまみが「赤色」に代わって知らせてくれるという画期的な機能が付いていて、「もうすぐガスがなくなるから注文しなきゃ」とわかるようになったのです。



なぜメーターが必要だった？

液化石油ガスメーターが普及したのには、次の3つの理由があります。

1：不公平をなくすため

ポンペ1本で買っていると、「最後まで使い切れているのかな？」と不安になる人もいました。メーターがあれば、使った分だけ払えばいいので安心です。

2：ガス屋さんが楽になる

お客さんから「今すぐ持ってきて！」と夜中に呼ばれることが減り、計画的にポンペを運べるようになりました。

長さ計（ものさし）

タクシメーター

皮革面積計

目盛付タンク

質量計（はかり）

圧力計と血圧計

化学用体積計

燃料油メーター（自動車等給油メーター）

ます

温度計と体温計

ガスメーター

液化石油ガスメーター

織度計

浮ひょう（密度・比重・濃度）

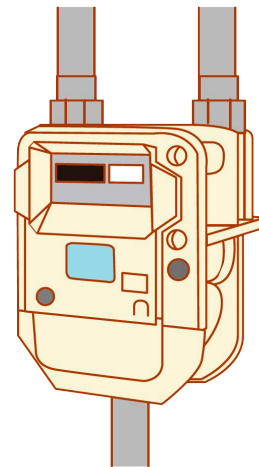
水道メーター

環境計量器

3：安全のため

メーターをつけることで、どこかでガスがもれていないかチェックしやすくなりました。

東京都では、計量法の厳格な基準に従って液化石油ガスメーターの検定・管理を行っており、これからも正確な計量と安全を確保していきます。



長さ計（ものさし）

タクシーメーター

皮革面積計

目盛付タンク

質量計（はかり）

圧力計と血圧計

化学用体積計

燃料油メーター（自動車等給油メーター）

ます

温度計と体温計

ガスメーター

液化石油ガスメーター

織度計

浮ひょう（密度・比重・濃度）

水道メーター

環境計量器